

府の新たな取組(案)

注) 本資料中、【R2 年度予算要求事業】の記載がある取組(案)については、今後、財政当局や知事の査定を受けたうえで、大阪府議会の議決を経て予算化されますので、現時点で確定したものではありません。

1. 使い捨てプラスチックの資源循環 (3R)

(1) 「おおさかマイボトルパートナーズ」によるマイボトル普及の取組み

「マイボトルユーザーにやさしい街おおさか」と題して、大阪の街の様々な主体が連携した、マイボトルを利用しやすいまちづくりを目指して、自治体や NPO、事業者などが参画するグループ「おおさかマイボトルパートナーズ」を、「豊かな環境づくり大阪府民会議（事務局：大阪府）」内に設置。

○想定メンバー

市町村、魔法瓶メーカー、給水機メーカー、マイボトル利用店舗マップアプリ等 web サービス事業者、NPO、水道事業者、集客施設 等

※趣旨に賛同する事業者・団体等は随時、メンバーに加わることができるようにする。

○マイボトルパートナーズによる連携取組（案）

取組メニュー	内 容	主な連携メンバー
府民へのマイボトル利用啓発	・府内の環境イベント等への啓発ブース出展 ・イベント会場でマイボトルが利用できるサービスコーナーの設置	市町村 魔法瓶メーカー 給水機メーカー
給水スポットの普及 マイボトル利用可能店舗・施設の拡大	・公共施設における無料給水機のモデル設置 ・観光、集客施設における給水機の設置 ・マイボトル利用サービスが受けられる協力店舗の募集/拡大	給水機メーカー 市町村 集客施設・店舗 魔法瓶メーカー 水道事業者
効果的な情報発信	・マイボトル向けドリンクメニューのある飲食店が検索できるアプリや、給水スポットマップなど ・ロゴデザインの情報発信への活用 ・各主体の SNS などを活用した発信	Web サービス系事業者など
パートナーズ会議など	・メンバーどうしの情報共有、取組の検討や意見交換のため、会議を年 1 回程度開催 ・情報共有、情報発信は随時実施	全メンバー

※上記取組（案）以外にも、メンバーの提案や意見により、随時取組を拡充

(2) マイバッグ普及促進事業【R2 年度予算要求事業】

来年 7 月から始まる全国一律のレジ袋有料化を踏まえて、さらにレジ袋を削減するため、家庭にある未使用エコバッグを府や市町村の庁舎、イベント会場等（30 か所）で回収し、未保有者に譲渡することで、マイバッグの普及促進を図る。また、本事業の趣旨を記載する説明パネルを作成するとともに、アンケートでマイバッグ受取者の意識変化を確認する。

(3) イベント後援名義を活用した使い捨てプラスチック削減

後援名義使用承認の要件に、使い捨てプラスチックの使用削減やごみの分別等の3Rの取組を追加することについて、庁内で検討中。

(取組例：リユース食器使用、給水機設置、ごみ分別指導、チラシ等による啓発(マイバッグ、マイボトル))

(4) プラスチックごみ対策に資する民間団体の環境保全活動支援【R2年度予算要求事業】

プラスチックごみ問題に関する府民意識を一層高め、府民等多様な主体による取組みを推進するため、環境保全活動補助金を活用して、「プラスチックごみ対策」に資するNPO等民間団体の環境保全活動への補助を行う。

【参考】環境活動補助金の概要 (R1年度事例)

<募集期間> 3月下旬から5月上旬

<補助対象>

- ・府民が参加して行う地球温暖化防止活動、環境美化活動、その他環境保全に関する実践活動
- ・府民を対象とする環境保全に関するイベント実施、学習会開催、その他啓発普及活動 等

<補助金額>

補助対象経費の2分の1以内で、1団体当たり上限30万円・下限10万円の範囲

補助金予算総額250万円 (※R2年度はプラごみ対策を優先的に対象とする枠を設け、予算総額300万円に増額要求中。)

<採択事業数>

10件 (10団体)

うち、プラスチックに関する事業2件

- ・天神祭でのリターナブル食器の使用 (天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会)
 - ・プラスチック問題についての学習と実践活動 (※事業の一部)
- (認定特定非営利法人地球環境市民会議 (CASA))

2. 海洋プラスチックごみ対策

(1) 教材の作成

① 小学生向け海洋プラスチックごみ啓発冊子 6 万部の作成・配布

次世代を担う子どもたちへの理解を促進するため、小学生向けの教材冊子を作成し、企業協賛により印刷、府内の小学校（小学 5 年生約 6 万人）へ配布する。

② 海洋プラスチックごみ啓発パンフレットの作成【R2 年度予算要求事業】

エコツアーや環境イベントで活用できる、海洋プラスチックごみ問題に関する様々な啓発情報をわかりやすくまとめた、汎用性のある啓発パンフレット（約 5,000 部）を作成する。

③ 普及啓発推進員育成事業【R2 年度予算要求事業】

市町村が委嘱する廃棄物減量等推進員のプラスチックごみ問題やプラスチックの 3 R に関する理解を促進し、地域での啓発活動に活かすためのハンドブック（10,000 部）を作成するとともに、市町村が推進員に研修等を行う際に活用できるリーフレット（5,000 部）を作成する。

(2) イベントの実施

① 子ども活動団体の交流イベントの開催【R2 年度予算要求事業】

「豊かな環境づくり大阪府民会議（事務局：大阪府）」の子ども世代向けの啓発・交流促進事業として、府民会議会員の事業者や団体と連携して、子どもエコクラブなどの府内の学校や地域単位で環境活動を行うクラブ・団体を集め、海洋プラスチックごみ問題をテーマとして、活動発表や意見交換を行うイベントを開催する。（年 1 回秋頃、100 人程度）

② 大阪湾エコツアーの実施【R2 年度予算要求事業】

小学生と保護者を対象に、船やバスで大阪湾や沿岸域を巡り、水質や海洋プラスチックごみ問題等を学習するエコツアーを実施する。

③ 大阪湾海ごみ啓発スタンプラリーの実施【R2 年度予算要求事業】

大阪湾の魅力スポットを巡りながら海洋プラスチックごみ問題を学習するスタンプラリーを、市町村や民間事業者と連携して実施する。

④ イベントや小売店における府民啓発【R2 年度予算要求事業】

令和元年度に作成したプラスチックごみ問題に関する啓発パネル（5 種類）を活用し、ロハスフェスタ等の大規模イベントやスーパーマーケット、商店街等において、プラスチックごみ対策を府民へ働きかける。

【参考】R1 年度の実施状況

<イベント> ロハスフェスタ南港・万博(民間イベント)、ECO 縁日(大阪市イベント)など 9 カ所

<スーパー> イオン藤井寺店、平和堂アル・プラザ香里園店など 5 カ所

(3) プラスチックごみの実態調査

① 海洋プラスチックごみの実態調査と情報発信【R2 年度予算要求事業】

大阪湾の南北2カ所に浮遊するマイクロプラスチックの個数及び組成や、海岸における漂着ごみの種類及び量の調査を行い、調査結果についてわかりやすく情報発信する。

② プラスチックごみ散乱状況の把握・評価手法の検討

海洋プラスチックごみの原因となる陸上の散乱ごみの実態についての情報収集、散乱状況の推計モデルの構築、モデル調査エリアにおける現地調査と推計モデルの検証を行い、地域のごみ散乱リスクを推計して地域の清掃やポイ捨て防止啓発などの効果的な地域対策の検討に活用する手法について検討する。

(3カ年事業として検討)

(4) 産業・技術育成

① 代替プラスチック普及に係る動向・課題調査

使い捨てプラスチック製品の代替プラスチック素材の開発・普及および資源循環システムについて、技術開発、普及、システムの改善に関する研究開発動向や課題を調査し、地域の促進施策の参考となる技術的提案を得る。地域の特色を活かした代替素材試作品の消費者モニター調査も実施。(3カ年事業として検討)

② 環境・エネルギー技術シーズ調査・普及啓発事業【R2 年度予算要求事業】

「おおさかブルー・オーシャン・ビジョン」など環境の長期目標達成に資するため、概ね2030～2050年頃の将来において実用化と普及が必要になると考えられるプラスチックごみ対策分野等の環境技術シーズ、及び府域事業者等が貢献し得る国内外の環境課題（ニーズ情報）を調査し、有識者による技術普及シナリオや課題解決・促進手法の検討、事業者や研究開発者を加えたタスクフォースにおける事業構想や情報発信等の検討を行う。(3カ年事業として検討)

(5) 海や河川等におけるプラスチックごみ等の回収【R2 年度予算要求事業】

府民、市町村等と連携して、海岸、河川区域等におけるプラスチックを含むごみなどの回収・清掃活動を行うとともに、国の補助事業により、海ごみの回収等を漁業関係者や市町村と連携して実施する。